

指定管理者評価シート

事業名	札幌市こぶし館	所管課(電話番号)	011-874-7836
-----	---------	-----------	--------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市こぶし館	所在地	札幌市白石区川北2254番地6
開設時期	平成8年4月1日	延床面積	588.26㎡
目的	障がい種別に関わらず、利用者一人ひとりの障がい特性に応じ、就労に必要な訓練を効果的に行うことにより、一般就労に結びつける		
事業概要	就労移行支援事業		
主要施設	作業・訓練室(3室)、静養室、相談コーナー、事務室、駐車場		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 朔風		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:管理期間中の管理が良好に行われていると認められたことから、札幌市福祉施設条例第13条第2項規定に基づき非公募とした。		
指定単位	施設数:1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設管理業務、施設事業計画及び実施に関する業務、施設利用承認業務、等		
3 評価単位	施設数:1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市障がい福祉計画の中にも掲げられている「福祉施設から一般就労」を重点課題と位置づけ、また、当法人の「障がいを負ったことは不運ではあっても、不幸ではない人生を送るために」という基本理念を基に、「札幌市こぶし館」の事業内容に照らし合わせて、下記の事業目標等を設定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業実習等の実践的な訓練の積み重ねから就労へ繋げる 2. 「働く」だけではなく、「生活」にも着目していく 3. 一人一人の想いを大切にする <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>札幌市こぶし館を利用希望する方が公平に利用できるように、見学希望の方や体験利用希望の方に対しても可能な限り対応している。それにより、相談室や病院等からの問い合わせも増えてきている。また、地域の高校とも進路相談や情報交換等も行っている。就労アセスメント利用での問い合わせも年々増えている。</p>	<p>年間を通して安定的に、5企業様での職場実習の機会を提供した。年度内の就職者は、5名でした。前年度より1名多く就職に繋がられた。</p> <p>年度内新規利用者は昨年度より増の18名(内就労アセスメント者4名含む)だった。</p>	<p>A B C D</p> <p>・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。</p> <p>・年間を通して安定的に4企業での職場実習の機会を提供するほか、就職者が昨年度より増加している点については評価できる。</p>

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

札幌市生活環境の確保に関する条例を順守し、利用者の活動に支障をきたすことの無い範囲で照明の間引きや使用後の各部屋の消灯の徹底等の電力量削減や、冬期間の灯油等の燃料消費量の削減に努めてきた。また事業所での出るごみの量の軽減を図るため、リサイクル可能なゴミ(雑紙・古紙等)の分別を徹底した。

職員・利用者ともに、ミーティング等で、省エネやごみ分別等の環境問題について意識の徹底を行い軽減に努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

業務分担については分担表を作成し、職員全員が役割分担を割り当てて行う。また各種マニュアルを作成し、緊急時の対応や日常的な伝達システムを全体周知をする。人材育成に関しては、法人内の就労移行支援事業所と合同研修を数回行い、就労支援に関する情報共有や資質の向上に努めた。また業務に関連する外部研修にも複数回職員を派遣している。

業務分担を明確化することで、効率的に業務を遂行できている。会議等で課題を提示することで、職員間で改善案を協議する等、自発的な取り組みも見られるようになってきている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

札幌市障がい福祉計画との整合性を図り、公の施設であることを自覚し、公平・公正な利用に供するように管理運営を行うように努めました。毎朝夕のミーティングは勿論の事、月一で利用者の個別支援計画進捗状況等に関するサービス担当者会議と、事業所運営に関する運営会議を開催し、情報共有と支援の統一化を図るよう努めた。

情報共有を大切に、支援や対応の不備が生じないように努めた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

1. 自家用電気工作物保安管理(電気保安)
2. 消防用設備(火災報知機)設備定期点検
3. 夜間及び休日等警備 等

特に問題は見られない。

監督及び履行確認は徹底してきた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	H31. 3. 8 運営協議会開催 ・札幌市こぶし館の現状と課題 ・アンケートの結果について
<協議会メンバー> 社会福祉法人義弘会 障がい者支援施設光友会施設長、札幌市障がい福祉課運営指導係係長・担当、利用者代表・保護者代表、法人常務理事、札幌市こぶし館施設長・主任	

札幌市こぶし館の現状と課題について利用者アンケートを基に協議を行う。個別ニーズが多様化することによるサービス内容や対応の在り方について、現状を報告し、参加された方から多くのアドバイスをいただきました。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の定める事務規定・経理規程に則り行う。 ・法人監査と外部監査を実施。 ・現金の取り扱いについては、経理規程及び経理規程細則により取扱ことのできる範囲を定め行う。 <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の「苦情解決システムに関する規定」により、解決のための体制、方法を定めている。 施設玄関前スペースにご意見ポストと専用紙を設置し、ご意見や苦情等を発信しやすいように対応する。 <p>今年度は利用者からのご意見ポストを通じての要望・苦情等は3件ありました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞を購読してほしい 2. 職員の口調がきつく聞こえることがある 3. 作業変更等の指示が明確ではなく、気が付かなかった <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>個別支援計画に沿って3ヶ月に1度のモニタリングと計画の見直しのための三者面談を行う。また、個別支援計画の進捗状況については毎月サービス担当者会議を開催して、職員間で情報の共有を図り、就労に向けた適切な支援を行っている。</p>	<p>法人本部と連携して適正に取り組めている。</p> <p>職員の対応については、会議で議題として取り上げ、改善を図ることに努めた。</p> <p>新聞については、ご意見後に購読をしている。</p> <p>モニタリング等は、計画通り行っている。</p>	
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の雇用に関しては、労働基準法、労働安全衛生法、労働災害補償保険法、健康保険法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等の施設の管理運営に関する労働関係法令を遵守し、就業規則その他の必要な規定等を整備するとともに、必要な届出を監督官庁に届けに行っている。 ・雇用環境については、より質の高い仕事や生活が実現できるように、働きやすい環境づくりに努めてきた。 	<p>雇用環境を整備し、働き甲斐のある職場づくりを心掛けている。</p>	<p>A B C D</p> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>施設内作業は勿論のこと、施設外での企業実習等も積極的に行っていることから、万が一の事故に対応するマニュアルの整備や安全管理を徹底してきた。保険関係も加入しているが、大きなけがや事故の発生はなかった。また、緊急時等の連絡先を利用者や保護者に公開し、夜間や休日における緊急時対応についても整備している。</p>	<p>大きなけがや事故が発生することもなく、緊急時の連絡体制も問題なく行っていた。</p>	<p>A B C D</p> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内の美化については、就労移行支援の作業訓練の一環と位置付け、毎日の通常清掃と定期的な特殊清掃(ワックスかけ等)も利用者と職員で行っている。 ・倉庫等にあった大型ゴミを撤去できたことにより、館内の整理整頓に繋がった。 ・保守点検に関しては、業務委託している。(自動ドア、警備、消防設備、等) <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛消防隊を結成し通報、避難誘導、消火等の役割分担の明確を明確化した。 ・防災訓練は2度開催。5月19日 札幌市民防災センターでの消火訓練・地震体験等を実施。3月23日 東日本大震災等、災害DVDを見て、その後震災時含めどのような対応が必要かグループワークを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開所以来、自動ドアの部品交換等行っていないため、劣化が見られている。また故障の際に部品の在庫がないものもあり、重要な検討課題となっている。 <p>震災DVDを見て、胆振東部地震での経験等、多くの方から積極的な意見が聞かれた。</p>													
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 就労に関する学習機会の提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して施設内作業は勿論の事、企業実習等の実践的な作業訓練機会を多く取り入れた。(5企業様) ・作業訓練以外にも、履歴書作成練習、ルールやマナー等の講座も多く取り入れ、職場見学も複数回行った。 <p>▽ 就労に関する情報収集及び提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークを訪問し、求人票の基本情報収集の方法や窓口での対応を通じて、様々な職種があることを知る機会を設けた。 ・合同面接会にも参加し、就労に関する各種情報収集を行った。 <p>▽ 利用に関する相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間で電話や来所での相談や見学等を含めると延べ53件の相談対応を行った。また学校等の長期休暇期間を使用した就労アセスメントを5件対応している。支援学校だけではなく、地域の高校から卒後の相談等の依頼も数件あった。 	<p>企業実習での実践的な取組と、講座による基本知識の再確認を行うことは、効果的だった。</p> <p>関係機関との連携により、様々な情報を収集することができ、サービスの向上につながっている。</p> <p>地域の学校では潜在的に福祉サービスの支援を必要としているケースがあり、どう福祉と繋げていけるかが今後の課題になっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・企業実習の積極的な導入など、実践的訓練を進めている点は評価できる。 ・関係機関との連携を図りながら、利用者増を図る取組を進めている点も評価できる。 	A	B	C	D								
A	B	C	D												
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 平成30年度目標20名 (実績16名80%達成) <table border="1" data-bbox="491 1832 922 1921"> <thead> <tr> <th>年度始在籍者</th> <th>年度途中利用開始</th> <th>年度中の退所者</th> <th>年度末在籍者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>17名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※就労アセスメント5名は上記に含まれていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職者数 平成30年度目標10名 (実績5名 50%達成) 	年度始在籍者	年度途中利用開始	年度中の退所者	年度末在籍者	17名	6名	6名	17名	<p>昨年度までよりも平均利用者数が増加している。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、就職者数ともに計画を下回るものの、新規の利用者の獲得及び就職に向け積極的に取り組む姿勢や昨年に引き続き、就職者数を増やした実績は評価できる。 	A	B	C	D
年度始在籍者	年度途中利用開始	年度中の退所者	年度末在籍者												
17名	6名	6名	17名												
A	B	C	D												

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務 ・事業所のホームページを開設し情報のPRを行い、フェイスブックも始め、様々な取組についてお知らせしている。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 ・特になし</p>	<p>より積極的な広報活動をおこなっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。</p>								
A	B	C	D													
<p>・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。</p>																
<p>2 自主事業その他</p>																
<p>▽ 自主事業 自主事業は行っていない。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ・事業所封筒等の印刷物を市内企業や福祉事業所に依頼。 ・元気ジョブを通じて、施設内作業の確保(2社より作業依頼)</p>	<p>継続していく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・適正に事業を実施している。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・適正に事業を実施している。</p>									
A	B	C	D													
<p>・適正に事業を実施している。</p>																
<p>3 利用者の満足度</p>																
<p>▽ 利用者アンケートの結果</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="252 1064 359 1265"> <p>実施方法</p> </td> <td data-bbox="359 1064 981 1265"> <p>・調査期間 平成31年2月1日～20日までの15日間 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(16名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 81.3%</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1265 359 1825"> <p>結果概要</p> </td> <td data-bbox="359 1265 981 1825"> <p>1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて54%</p> <p>2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて77%</p> <p>3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて54%</p> <p>4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて69%</p> <p>5. 生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて46%</p> <p>6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて77%</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1825 359 2004"> <p>利用者からの意見・要望とその対応</p> </td> <td data-bbox="359 1825 981 2004"> <p>・職員が頼りない ・職員により回答が違くと迷ってしまう ※職員会議等にて話し合いの機会を持ち、作業内容等の見直しを検討した</p> </td> </tr> </table>	<p>実施方法</p>	<p>・調査期間 平成31年2月1日～20日までの15日間 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(16名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 81.3%</p>	<p>結果概要</p>	<p>1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて54%</p> <p>2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて77%</p> <p>3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて54%</p> <p>4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて69%</p> <p>5. 生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて46%</p> <p>6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて77%</p>	<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>・職員が頼りない ・職員により回答が違くと迷ってしまう ※職員会議等にて話し合いの機会を持ち、作業内容等の見直しを検討した</p>	<p>アンケートに対して率直に意見を出していただいたことで、職員が日頃気づけていなかった面を改善するいい機会となっている。各項目の満足度が80%を下回っており、次年度への大きな課題となる。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・要求水準を下回っている。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・要求水準を下回っている。</p>			
<p>実施方法</p>	<p>・調査期間 平成31年2月1日～20日までの15日間 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(16名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 81.3%</p>															
<p>結果概要</p>	<p>1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて54%</p> <p>2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて77%</p> <p>3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて54%</p> <p>4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて69%</p> <p>5. 生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて46%</p> <p>6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて77%</p>															
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>・職員が頼りない ・職員により回答が違くと迷ってしまう ※職員会議等にて話し合いの機会を持ち、作業内容等の見直しを検討した</p>															
A	B	C	D													
<p>・要求水準を下回っている。</p>																

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	H30計画	H30決算	差(決算-計画)	<p>平成30年度はほぼ当初計画どおりの収支で決算を終えました。平成30年度も本部会計から500万円の繰入が必要となりました。こぶし館単体での決算としては、非常に厳しい決算で、法人全体の収支を圧迫する結果となっておりますので、令和元年度は、利用者の増員による収入増と清掃事業の充実化を図りたいと思います。</p> <p>・ほぼ計画どおりの収支となっている。 ・法人本部会計からの繰り入れにより、施設運営を維持していることから、引き続き新規利用者の開拓を進める必要がある。</p>			
収入	58,548	58,622	74				
指定管理業務収入	35,748	35,875	127				
指定管理費	0	0	0				
給付費	30,043	30,180	137				
利用料金	0	0	0				
拠点区分間繰入(法人本部より)	5,000	5,000	0				
その他	705	695	▲ 10				
就労生産事業収入	22,800	22,747	▲ 53				
自主事業収入	0	0	0				
支出	57,160	56,945	▲ 215				
指定管理業務支出	34,360	34,203	▲ 157				
就労生産事業支出	22,800	22,742	▲ 58				
自主事業支出	0	0	0				
収入-支出	1,388	1,677	289				
利益還元	0	0	0				
法人税等	0	0	0				
純利益	1,388	1,677	289				
▽ 説明							
<p>平成30年度は、最大で利用者数が16名まで増えました。指定管理を受けて5年が経過しましたが、依然赤字決算からは脱却できず、本部会計より多額の繰入をしてもらっております。</p> <p>令和元年度は、身体障がい者福祉センターの清掃業務に新規利用者を増やし、清掃業務の向上と収入増加に向けて努力いたします。</p>							

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>利用者確保と利用者数の増加を最優先課題とし、収入を増やして、経営基盤の安定を図り、法人本部会計からの繰入を最小限に抑え、経営努力を行った。また同時に経費削減と効率化を念頭に収支改善を徹底した。</p>		<p>適 不適</p> <p>・法人本部から繰り入れを受けながらではあるが、安定した経営を保持している。</p>
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>各条例の規定により、適切に対応している。</p>		<p>適 不適</p> <p>・各条例を順守し、適正に対応している。</p>

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	
<p>・毎年課題となる利用者確保については、法人内の業務見直しに伴い、もともと他事業所で行ってきた清掃業務を追加したことにより、結果的に平均利用者が16名を超えることができました。しかし本来の意味で利用者が増員されたわけではなく、他事業所からスライドして新規利用となっており、新規開拓により利用者増となれるよう努めなければならない。</p> <p>・前年度は一般就労した方が4名だったのに対し、今年度は5名の方が一般就労をすることが出来た。しかし元利用者で、就労後2年を経過後に離職した4名の方が、今年度に再利用となっている。就労定着の大切さと難しさを実感する1年となった。</p> <p>・アンケート結果にもあるように利用していただく方からの満足度が低迷しており、もう一度支援者としての資質の向上や適切なサービスを提供できるよう見直し改善が必要な部分が多く、次年度へ向けた課題となった。</p>	<p>1. 指定管理を更新し、さらに4年間の事業所運営となるが、これまでの5年間の取り組みを継続しつつも、更なるレベルアップを目指します。</p> <p>1) 利用される方それぞれの個性を大切にした支援を心掛ける 2) 事業所として統一した方向性と、支援の一貫性を目指す 3) 「働くこと」だけでなく、「暮らすこと」にも着目し、様々な視点から就労支援に取り組んでいく</p> <p>2. 公の施設としての自覚と責任感を持ち、必要とされる事業所を目指す</p> <p>1) 利用相談・見学等、様々なお問い合わせに対して親切丁寧な対応を心掛ける 2) フェイスブックを中心に活動内容等の広報活動を積極的に行い、事業所の認知度を高めていく</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>法人本部から繰り入れを受けつつも人員を手厚く配置していることや、利用者の個々の特性を把握したきめの細かい支援を行っていること、利用実績・就職者数共に毎年増加していることが高く評価できる。また、関係機関との連携や広報活動の強化を進めている点についても評価できる。</p>	<p>新規利用者のさらなる確保や、一般企業への就労実績の向上を図ることが求められる。</p> <p>また、利用者アンケートで出た意見についても、事業所内で検討し、今後の運営に反映していくことが望ましい。</p>